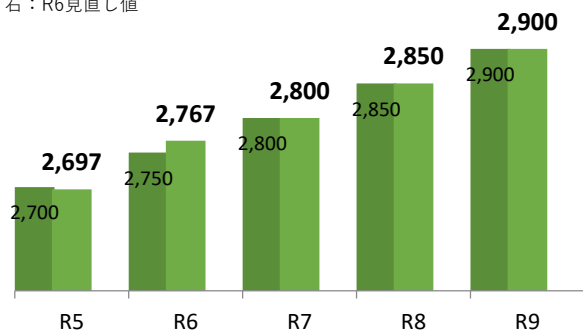


第4次中期経営計画の見直しのポイント①

資料2-1

救急車搬送件数（件）

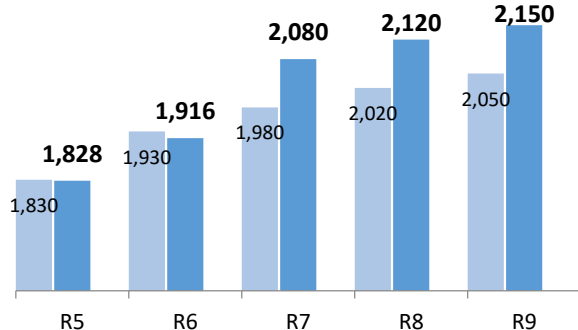
左：R5見直し値
右：R6見直し値



- 救急搬送件数の増加に伴いR5は計画値とほぼ同値。
- R6も増加傾向。
- R7以降も救急応需率の向上を継続するため昨年の計画値を維持する。

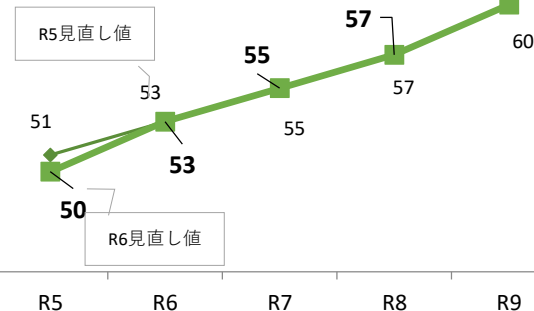
手術件数（件）

左：R5見直し値
右：R6見直し値



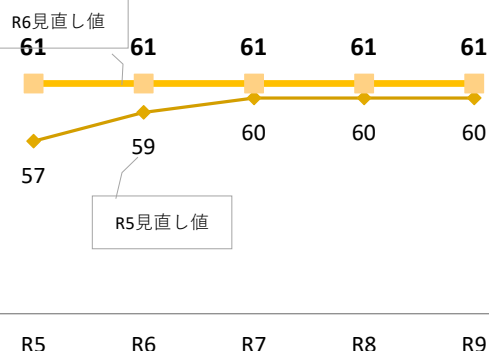
- R5は計画値とほぼ同値。
- R6は血管外科等の影響で件数は増加傾向。
- R7以降は、新たに整形患者の増を踏まえ、計画値を上方修正する。

紹介率（％）



- R5は1ポイント計画値を下回った。
- R6は地域連携に取り組み計画値とほぼ同値の見込み。
- R7以降も地域連携を強化し、計画値を維持する。

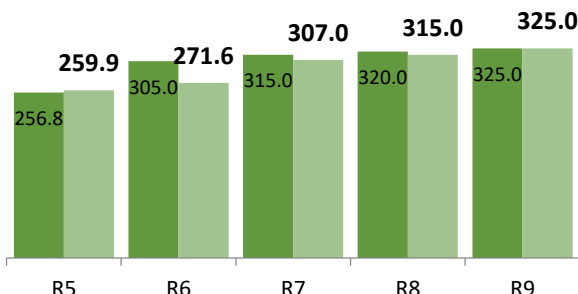
逆紹介率（％）



- R5は計画値を上回った。
- R6も計画値を上回る見込み。
- R7以降の計画を上方修正し、R5実績とR6見込みの数値を計画値とする。

1日当たり入院患者数（人）

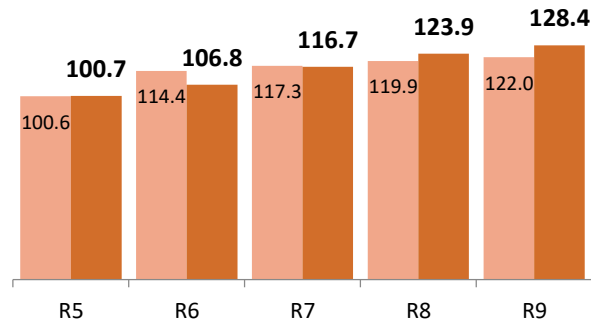
左：R5見直し値
右：R6見直し値



- R6はR5より回復したがコロナ前には遠い。
- R7以降も救急応需率及び入院移行率の向上を図ることで、入院患者数の増を図る。
- R9の計画値はコロナ前の水準に近い325人／日を維持。※H30年度：333人／日

医業収益（税抜き）（億円）

左：R5見直し値
右：R6見直し値



- 入院患者数の増やコンサル活用による診療単価の増等により、医業収益の増収を段階的に図っていく。
- R8とR9の計画を上方修正し、R9では128.4億円の医業収益を計画値とする。

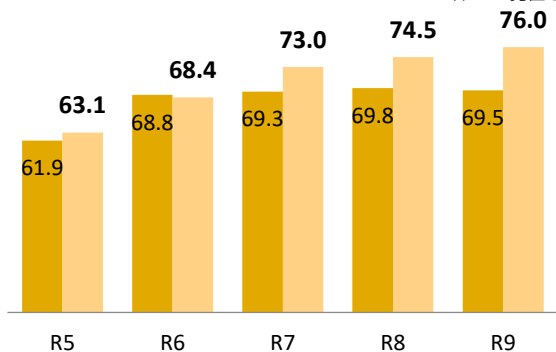
※医業収益には一般会計負担金（医業外収益）のうち救急医療確保経費と保健衛生行政事務経費を加えている

第4次中期経営計画の見直しのポイント②

資料2-2

職員給与費（税抜き）（億円）

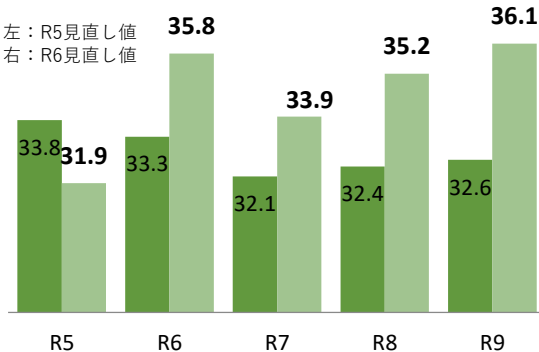
左：R5見直し値
右：R6見直し値



- 職員のベースアップなど処遇改善を図るために必要な人件費を見込むため、R7から大幅増。
- 想定は困難だが、年間2%の給与単価増を想定し上方修正する。

材料費（税抜き）（億円）

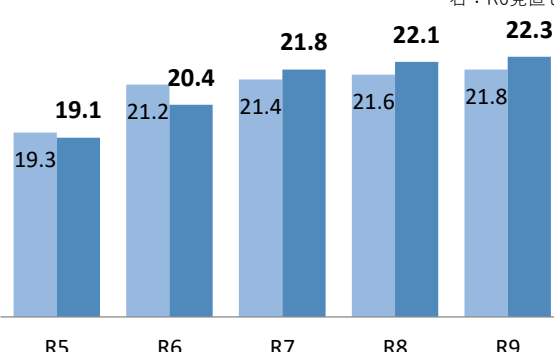
左：R5見直し値
右：R6見直し値



- 血管外科新設や高額薬剤の使用増により増加傾向にあるため上方修正する。
- 一方コンサルによりDPCに包括される投薬注射の見直しによる費用の抑制を図っていく。

経費（税抜き）（億円）

左：R5見直し値
右：R6見直し値

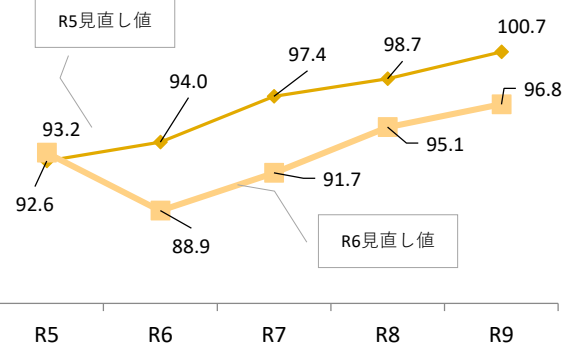


- 物価高騰や労務単価の増の影響により委託料や光熱水費の増が見込まれるため計画を上方修正する。
- 一方で委託費用の削減など経費節減に改めて取り組むことで年間1%程度の費用増に抑える計画とする。

経常収支比率（%）

R5見直し値

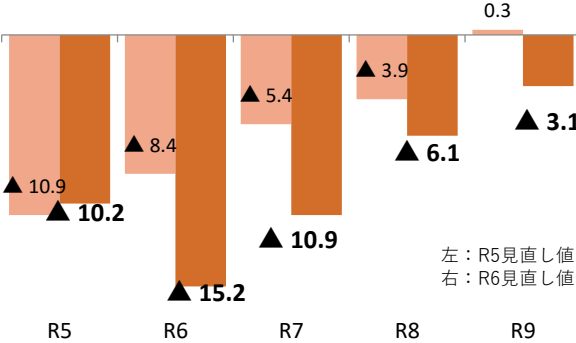
R6見直し値



- 病院事業収益から特別利益を除いた経常収益と、病院事業費用から特別損失を除いた経常費用の比率である経常収支比率。
- R9に100%以上（黒字）の計画は費用の増を踏まえ下方修正する。

単年度資金収支（億円）

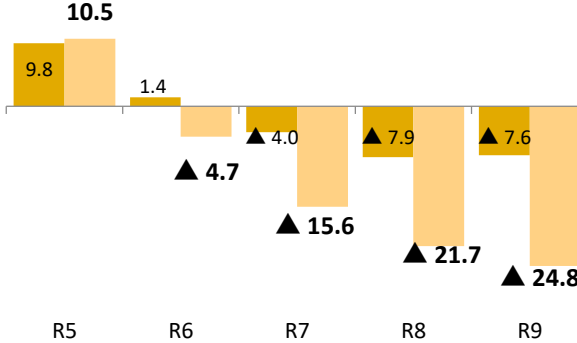
左：R5見直し値
右：R6見直し値



- 経営状況を示す重要指標である単年度資金収支。
- 入院患者数の増や費用削減の努力により赤字額圧縮に努めるが、経常収支比率と同様、R9の黒字は困難である。

年度末資金残高（億円）

左：R5見直し値
右：R6見直し値



- 単年度資金収支の赤字額の圧縮に努めるが、年度末資金残高は最終年度で▲24.8億円（資金不足比率19.3%）となり、当初の想定より厳しい状況に置かれる。